

永磁リフターRZ1型 取扱説明書

仕様

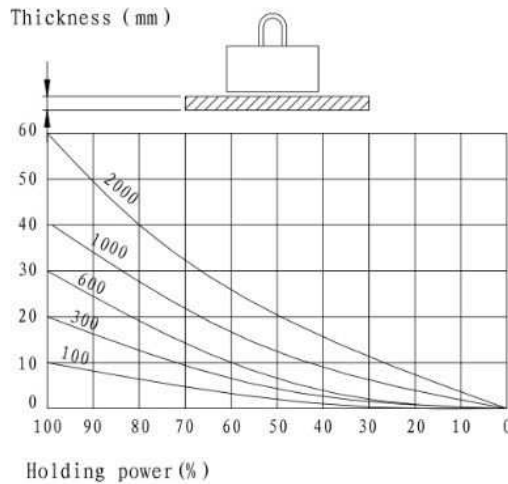
吊上能力 (kg)	-
自重 (kg)	-
使用温度℃	<80
最大引張力	-
外形寸法 (mm)	

各部の名称



使用方法

- (1) 永磁リフターは定格吊上能力の範囲内で使用し、事故防止の為、本来の使用方法以外での使用は厳禁です。
- (2) 永磁リフターの吊上能力は対象のワークの厚みや表面の状態によって異なります。ご使用前に性能曲線を参照の上、対象に使用可能か確認ください。



- ※吊上対象の最低板厚(平鋼100%の場合)
- | | | | |
|----------|---|------|------|
| RZ1-0.1型 | → | 必要板厚 | 10mm |
| RZ1-0.3型 | → | 必要板厚 | 20mm |
| RZ1-0.6型 | → | 必要板厚 | 30mm |
| RZ1-1 型 | → | 必要板厚 | 40mm |
| RZ1-2 型 | → | 必要板厚 | 60mm |

- (3) ワークの材質、種類も吊上能力に影響します。(鉄/低炭素鋼100%、中炭素鋼95%、高炭素鋼90%、低合金鋼75%、鋳鉄50%)
- (4) ハンドルを取り付ける際は、永磁リフターのハンドルが自由にON/OFFできるように鋼板の上に置いて、取り付けてください。鋼板のない状態では力を加えてもハンドルは回転しません。
- (5) 使用時は、永磁リフターをワークの重心に置きハンドルをリリース位置(OFF)から保持位置(ON)に倒し、ハンドルのスライドキーが正常に作動するか確認してください。位置決めピンによりロックされ、ハンドルが固定されていることを確認してから吊り上げてください。吊り上げ後は、慎重に移動させてください。振動や衝撃により、吊り上げたワークが落下し、事故の原因となる恐れがあります。
- (6) 丸鋼に使用する場合、永磁リフターの底部のV字溝に接触する必要があります。吊上能力は一般的に定格吊上能力の30%~50%程です。(直径により吊上能力は異なります。)
- (7) 使用後はハンドルのボタンを引き上げ、ハンドルのキーを位置決めピンから解除し、ハンドルを引いて、リリース位置(OFF)に戻し、永磁リフターを外します。
- (8) 使用環境：1. 周囲温度が80℃以下であること、2. 激しい衝撃や振動がないこと。
3. 周辺環境に金属を腐食させる成分、物質がないこと

メンテナンスと安全性

- (1) 永磁リフターに強い衝撃や振動を与えないでください。性能に影響を及ぼす恐れがあります。
- (2) 永磁リフターが鉄鋼の上でない状態でハンドルを引かないでください。
- (3) 吊上作業中は、ワークの下に入る、通過するなどしないでください。
- (4) 永磁リフターの底部は常に綺麗で、平らな状態に保ち油、ゴミ等が付着している場合は清掃してください。
- (5) 安全に使用する為、使用前には、必ずボタン、ハンドル、位置決めピンに問題が無いことを確認してください。
- (6) ワークを吊り上げている間は、クレーンの操作を慎重に行い、揺れ、衝撃、衝突のない様、注意してください。ハンドル操作には特に注意が必要です。ハンドルが正常に使用できない場合には、強引に引いたり、叩いたり、解体したりしないでください。ハンドルが正常に使用できない。破損している。割れている。折れているなど確認した場合には自ら修理を行わず、必ず購入元へ連絡してください。
- (7) 永磁リフターは安全の為、使用后2年以内に点検を行ってください。
- (8) 永磁リフターの運転は、クレーンに関する各国の規則に基づき使用してください。

連絡先

日本マグネティックス株式会社

所在	住所	電話番号 FAX番号
本社工場	〒818-0114	092(922)7161
	福岡県太宰府市北谷ソイラ716-2	092(922)7162
東京営業所	〒114-0013 東京都北区東田端1-7-3	03(3895)6271
	田端フクダビル 3F	03(3895)8456
大阪営業所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-1-29	06(6304)6668
	新大阪SONEビル12F	06(6304)6485